

第39回日本血液事業学会総会プログラム

市民

市民公開講座

第1日目：10月4日（日）14：10～15：50 第1・2会場

再生医療の現状と将来展望

座長：木村 貴文（京都大学 iPS 細胞研究所）

河 敬世（日本赤十字社近畿ブロック血液センター）

① iPS 細胞研究の現状と今後の臨床展開

ーいよいよ本格化する再生医療の創薬の世界ー

中畑 龍俊（京都大学 iPS 細胞研究所）

② 心臓は再生する！？

宮川 繁（大阪大学大学院医学系研究科心臓血管外科学）

③ iPS 細胞由来網膜色素上皮細胞移植の今後

高橋 政代（理化学研究所）

SL1

特別講演 1

第2日目：10月5日（月）13：00～13：50 第1会場

緒方洪庵の種痘事業

演者：村田 路人（大阪大学大学院文学研究科）

座長：清川 博之（日本赤十字社九州ブロック血液センター）

SL2

特別講演 2

第3日目：10月6日（火）13：00～13：50 第1会場

エピジェネティクス入門ーその概念から応用までー

演者：仲野 徹（大阪大学大学院医学系研究科病理学）

座長：谷 慶彦（奈良県赤十字血液センター）

SY1

シンポジウム 1

第2日目：10月5日（月）9：00～10：50 第1会場

輸血感染症とその安全対策

座長：清水 博（日本赤十字社東北ブロック血液センター）

高松 純樹（日本赤十字社東海北陸ブロック血液センター）

①輸入感染症 Dengue、Ebola

高崎 智彦（国立感染症研究所ウイルス第1部）

②シャーガス病

古居 保美（日本赤十字社血液事業本部）

③個別 NAT 導入後の現状

坂本 賢一（日本赤十字社血液事業本部）

④細菌汚染と BacT/ALERT

名雲 英人（日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター）

⑤ALTの基準変更ーALT値による製品除外の見直しについて

佐竹 正博（日本赤十字社血液事業本部中央血液研究所）

SY2

シンポジウム 2

第2日目：10月5日（月）14：00～16：50 第1会場

血液事業の将来展望（総会長シンポジウム）

座長：田所 憲治（日本赤十字社血液事業本部）

藤村 吉博（日本赤十字社近畿ブロック血液センター）

①少子高齢化と献血者／血液の確保の展望

中島 一格（日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター）

②血液の安全性の到達点と展望

佐竹 正博（日本赤十字社血液事業本部中央血液研究所）

③今後の製剤開発について

五十嵐 滋（日本赤十字社血液事業本部）

④造血幹細胞移植の支援活動の事業化と展望

高梨美乃子（日本赤十字社血液事業本部）

⑤iPS細胞技術と血液事業の展望

谷 慶彦（奈良県赤十字血液センター）

⑥広域事業運営体制の現状と展望

前野 節夫（日本赤十字社血液事業本部）

SY3

シンポジウム 3

第3日目：10月6日（火）9：00～11：20 第1会場

採血効率への取組み（特別シンポジウム）

座長：田村 康一（和歌山県赤十字血液センター）

龍 延博（日本赤十字社近畿ブロック血液センター）

①岡山センターの献血推進改革～積極的な渉外活動が血液事業を支える～

村上 文一（岡山県赤十字血液センター）

②1 稼働当たり採血減少回避への福井県の取組みについて

妹尾 光朗（福井県赤十字血液センター）

③9045 から 9545、そして 9550 へ東北ブロックの取組み経過について

大地山正明（日本赤十字社東北ブロック血液センター）

④近畿ブロック血液センター献血推進委員会「サイトノミクス」活動の経過について

下垣 昭二（日本赤十字社近畿ブロック血液センター）

⑤京都センターにおけるサイトノミクスの実践について

坂本 靖之（京都府赤十字血液センター）

⑥効率的な事業運営と献血推進の在り方ー『献血推進 2020』を基軸としてー

瀧川 正弘（日本赤十字社血液事業本部）

SY4

シンポジウム 4

第3日目：10月6日（火）14：00～15：50 第1会場

非溶血性輸血副作用

座長：藤原 満博（日本赤十字社北海道ブロック血液センター）

平山 文也（日本赤十字社近畿ブロック血液センター）

①ベッドサイドの現状

加藤 栄史（愛知医科大学輸血部・細胞治療センター）

②アレルギー性副作用の原因因子

保井 一太（日本赤十字社近畿ブロック血液センター）

③輸血関連急性肺障害（TRALI）症例における白血球抗体

鎌田 裕美（日本赤十字社血液事業本部中央血液研究所）

④非溶血性輸血副作用の現状と今後の課題

平 力造（日本赤十字社血液事業本部）

WS1

ワークショップ 1

第2日目：10月5日（月）9：00～10：20 第3会場

血液事業における今後の搬送・供給体制を考える

座長：中島 一格（日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター）

高本 滋（日本赤十字社北海道ブロック血液センター）

①離島への血液供給の現状と課題

藤井 実（長崎県赤十字血液センター）

②鹿児島県における備蓄医療機関等による供給の現状と課題

藤村 慎一（鹿児島県赤十字血液センター）

③緊急持出血液による供給の現状

寺田 亨（秋田県赤十字血液センター）

④血液搬送装置を用いた離島への供給経験とその利用可能性

松崎 浩史（東京都赤十字血液センター）

⑤遠隔管理保冷库による供給システム

塚田 好晃（北海道赤十字血液センター）

⑥今後の血液供給体制の構築に向けて

旗持 俊洋（日本赤十字社血液事業本部）

WS2

ワークショップ 2

第2日目：10月5日（月）14：00～15：20 第3会場

稀な血液の検査体制と供給体制

座長：石丸 健（日本赤十字社血液事業本部）

矢部 隆一（日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター）

①モノクローナル抗体の製造

高橋 英夫（日本赤十字社近畿ブロック血液センター）

②遺伝子組換えによるモノクローナル抗体の作製

飛田隆太郎（日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター）

③稀な血液の検査体制の現状と課題

大橋 恒（日本赤十字社北海道ブロック血液センター）

④稀な血液の需給調整について

石井 武志（日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター）

WS3

ワークショップ 3

第2日目：10月5日（月）15：30～16：50 第3会場

採血副作用

座長：紀野 修一（日本赤十字社北海道ブロック血液センター）

柴田 玲子（東京都赤十字血液センター）

①採血副作用の現状報告と対策

國井 典子（日本赤十字社血液事業本部）

②下肢筋緊張運動のメカニズムと効果

菅野 隆浩（福島県赤十字血液センター）

③採血副作用の捉え方ー VVR を中心にー

山本 哲（北海道赤十字血液センター）

④会場外体調不良調査と対策

岡田実也子（東京都赤十字血液センター）

WS4

ワークショップ 4

第3日目：10月6日（火）9：00～10：20 第3会場

MR ～新たな船出を迎えて～

座長：高瀬 隆義（日本赤十字社血液事業本部）

阿蘇 秀樹（日本赤十字社近畿ブロック血液センター）

①これからの医薬情報活動について

高瀬 隆義（日本赤十字社血液事業本部）

②中小規模医療機関への情報提供の在り方

日野 郁生（日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター）

③院内輸血療法委員会へのアプローチ

吉田 斉（秋田県赤十字血液センター）

④輸血を行う臨床医へのアプローチ

ー輸血副作用対応（相談含む）を活かした能動的活動ー

齋藤 隆夫（日本赤十字社近畿ブロック血液センター）

⑤医療機関が期待する血液センターの医薬情報体制

千田 繁彦（大阪赤十字病院輸血部）

WS5

ワークショップ 5

第3日目：10月6日（火）10：30～11：50 第3会場

さい帯血バンク事業の現状と今後の展望

座長：高梨美乃子（日本赤十字社血液事業本部）

松本加代子（日本赤十字社近畿ブロック血液センター）

- ①「移植に用いる造血幹細胞の適切な提供の推進に関する法律」施行後の現状と課題について

山口 公平（厚生労働省健康局疾病対策課移植医療対策推進室）

- ②中部さい帯血バンクの取組み

加藤 剛二（一般社団法人中部さい帯血バンク）

- ③近畿さい帯血バンクの取組み－採取意欲増進に向けた方策－

堀江 芳典（日本赤十字社近畿ブロック血液センター〔日本赤十字社近畿さい帯血バンク〕）

- ④造血幹細胞提供支援機関の役割

加藤 和江（日本赤十字社血液事業本部）

WS6

ワークショップ 6

第3日目：10月6日（火）14：00～15：20 第3会場

新たな危機管理体制をめざして～あの日を忘れないために～

座長：北井 暁子（日本赤十字社血液事業本部）

土肥 博雄（日本赤十字社中四国ブロック血液センター）

- ①過去の大震災の経験から～課題と対策～

千葉 広一（日本赤十字社血液事業本部）

- ②『原子力災害における救護活動ガイドライン』の制定にあたって

山澤 将人（日本赤十字社事業局）

- ③高知県災害時医療救護計画における輸血用血液製剤の緊急供給体制

溝渕 樹（高知県赤十字血液センター）

- ④災害時の輸血用血液製剤確保－新潟県地域防災計画に基づく取組－
（行政の立場から）

山崎 理（新潟県福祉保健部）

- ⑤災害に強い情報システムの構築を目指して

鈴木 一彦（日本赤十字社血液事業本部）

- ⑥新たな危機管理体制の構築に向けて

宮本 行孝（日本赤十字社血液事業本部）

EL1

教育講演 1

第2日目：10月5日（月）9：00～9：50 第2会場

食生活と肝機能異常

演者：田守 昭博（大阪市立大学医学部附属病院）

座長：神前 昌敏（大阪府赤十字血液センター）

EL2

教育講演 2

第2日目：10月5日（月）9：00～9：50 第4会場

情報があふれる社会の中で、人を動かす力をどう生み出すか

演者：西村 康朗（株式会社博報堂）

座長：駒田 修（日本赤十字社近畿ブロック血液センター）

EL3

教育講演 3

第2日目：10月5日（月）14：00～14：50 第2会場

ボランティア意識の深層：脳活動からの理解

演者：泰羅 雅登（東京医科歯科大学・大学院医歯学総合研究科）

座長：竹尾 高明（日本赤十字社東海北陸ブロック血液センター）

EL4

教育講演 4

第2日目：10月5日（月）15：00～15：50 第4会場

ホスピタル・プレイ・スペシャリストとの協働から生まれる可能性

日本におけるこれまでの取り組みを踏まえて

演者：松平 千佳（静岡県立大学短期大学部／NPO 法人日本ホスピタルプレイ協会）

座長：小笹 宏（滋賀県赤十字血液センター）

EL5

教育講演 5

第3日目：10月6日（火）9：00～9：50 第2会場

新興・再興感染症と血液製剤の感染症因子低減化

演者：佐竹 正博（日本赤十字社血液事業本部中央血液研究所）

座長：五十嵐 滋（日本赤十字社血液事業本部）

EL6

教育講演 6

第3日目：10月6日（火）10：00～10：50 第2会場

WT1 ペプチドがんワクチン

演者：杉山 治夫（大阪大学大学院医学研究科）

座長：辻 肇（京都府赤十字血液センター）

EL7

教育講演 7

第3日目：10月6日（火）11：00～11：50 第2会場

食の安全・安心への取り組み～キリンの品質保証～

演者：高橋 裕二（キリン株式会社品質保証部）

座長：飯田 俊二（日本赤十字社血液事業本部）

EL8

教育講演 8

第3日目：10月6日（火）14：00～14：50 第2会場

神経障害（採血副作用）

演者：稲田 有史（稲田病院）

座長：三木 均（兵庫県赤十字血液センター）

SP1

特別企画1 ブロック血液センター所長推薦優秀演題

2日目：10月5日（月）15：30～16：50 第2会場

ブロック血液センター所長推薦優秀演題発表会

座長：高本 滋（日本赤十字社北海道ブロック血液センター）
高松 純樹（日本赤十字社東海北陸ブロック血液センター）

【北海道ブロック】

レーザー血流計を用いた血小板献血時における血流量ならびに脈動数の連続測定と
VVR 予知への取組み

菊池 礼子（北海道赤十字血液センター）

【東北ブロック】

「在宅輸血ガイドライン素案（手引書）」作成への取り組み

黒田 優（山形県赤十字血液センター）

【関東甲信越ブロック】

外科系4診療科における適正使用推進のための赤血球準備量実態調査

瀬下 敏（新潟県赤十字血液センター）

【東海北陸ブロック】

～予算『0』は可能性『0』ではない～続報

パフォーマンスボランティア feat. 血液センター

中野 有華（静岡県赤十字血液センター）

【近畿ブロック】

京都センターにおける聴覚障害献血者対応の工夫とそれに対する反響

樋口富美子（京都府赤十字血液センター）

【中四国ブロック】

鳥取県学生献血推進協議会と地元企業のタイアップについて

大門 武広（鳥取県赤十字血液センター）

【九州ブロック】

夏季における献血者保護及び職員の労働環境改善を目的とした移動採血車車内温度の改善について

緒方 毅史（福岡県赤十字血液センター）

SP2

特別企画2 「ふたたび輝く笑顔のために」

第2日目：10月5日（月）17：00～17：50 第2会場

ふたたび輝く笑顔のために

座長：河 敬世（日本赤十字社近畿ブロック血液センター）

① 献血者と患者さんをつなぐ取り組み—つなぐ献血のキズナー

東保 一葉（山梨県赤十字血液センター）

② 献血推進活動を通じた障がい児支援活動への協力

～血液センターから地域の笑顔へ～

鳥居 愛美（静岡県赤十字血液センター）

③ 愛顔（えがお）の高校生献血推進 行政（愛媛県）の取り組み

福田 稔（愛媛県赤十字血液センター）

④ 献血ルームの採血ベッドに設置したナースコールの使用状況とその有効性について

山田 美佳（広島県赤十字血液センター）

⑤ 母乳によるサイトメガロウイルス感染症の1症例

清水 貴人（宮城県赤十字血液センター）

SP3

特別企画3 「地方からの挑戦」

第3日目：10月6日（火）15：00～15：50 第2会場

地方からの挑戦

座長：藤村 吉博（日本赤十字社近畿ブロック血液センター）

① 400mL 希望の血色素量低値献血者を成分献血へ誘導の試み

—移動採血車で看護師による献血ルームへの勧誘—

山田美奈子（兵庫県赤十字血液センター）

② 採血部門で取り組んだ「健康増進キャンペーン」の結果と期待される効果

松川 敬子（広島県赤十字血液センター）

③ 離島並びに遠隔地における赤血球製剤の有効利用について

堀口 純（東京都赤十字血液センター）

④ “鹿児島県けんけつ応援隊” 活性化に向けての取り組み

儀保 景子（鹿児島県赤十字血液センター）

⑤ 沖縄県における赤血球製剤の量過多減損への対策について

久場美和子（沖縄県赤十字血液センター）

共催セミナー 1

第2日目：10月5日（月）8：00～8：50 第1会場

共催：ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社

HTLV-1 と ATL の最新情報

演者：宇都宮 興（公益財団法人慈愛会今村病院分院）

座長：佐竹 正博（日本赤十字社血液事業本部中央血液研究所）

共催セミナー 2

第2日目：10月5日（月）8：00～8：50 第3会場

共催：和光純薬工業株式会社・旭化成ファーマ株式会社

糖尿病の治療と合併症に対する新たな展開

演者：矢部 大介（関西電力病院 糖尿病・代謝・内分泌センター）

座長：豊岡 重剛（福井県赤十字血液センター）

共催セミナー 3

第2日目：10月5日（月）12：00～12：50 第1会場

共催：富士レビオ株式会社

B型肝炎 ユニバーサルワクチネーションへの道

演者：須磨崎 亮（筑波大学医学医療系小児科）

座長：紀野 修一（日本赤十字社北海道ブロック血液センター）

共催セミナー 4

第2日目：10月5日（月）12：00～12：50 第2会場

共催：株式会社イムコア

自動分析器を用いた血液型検査と不規則抗体スクリーニング

演者：矢部 隆一（日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター）

座長：谷 慶彦（奈良県赤十字血液センター）

共催セミナー 5

第2日目：10月5日（月）12：00～12：50 第3会場

共催：川澄化学工業株式会社

18Gの採血針

演者：松崎 浩史（東京都赤十字血液センター）

座長：柴田 玲子（東京都赤十字血液センター）

共催セミナー 6

第2日目：10月5日（月）17：00～17：50 第1会場

共催：一般社団法人日本血液製剤機構

抗 HBs 人免疫グロブリンの国内自給への方策**HBIG を用いた B 型肝炎治療の現状と HB ワクチンプログラムによる原料血漿の収集について**演者：紀野 修一（日本赤十字社北海道ブロック血液センター兼
日本赤十字社血液事業本部）**遺伝子組換え抗 HBs 人免疫グロブリンの開発**

演者：古田 里佳（日本赤十字社近畿ブロック血液センター）

座長：脇坂 明美（一般社団法人日本血液製剤機構研究開発本部中央研究所）

共催セミナー 7

第2日目：10月5日（月）17：00～17：50 第3会場

共催：株式会社カイノス

Hb-vesicles（赤血球代替物）の有用性と開発の状況

演者：酒井 宏水（奈良県立医科大学医学部化学教室）

座長：藤村 吉博（日本赤十字社近畿ブロック血液センター）

共催セミナー 8

第3日目：10月6日（火）8：00～8：50 第1会場

共催：グリフォルス社

HEV NAT スクリーニングの現状

演者：坂田 秀勝（日本赤十字社北海道ブロック血液センター）

地域センターの品質情報係がドラッカーのマネージメントを読んだら

演者：吉原 淳（島根県赤十字血液センター）

座長：土肥 博雄（日本赤十字社中四国ブロック血液センター）

共催セミナー 9

第3日目：10月6日（火）8：00～8：50 第3会場

共催：シスメックス株式会社

臍帯血と臍帯を用いた新規細胞治療開発

演者：長村登紀子（東京大学医科学研究所セルプロセッシング・輸血部）

座長：高梨美乃子（日本赤十字社血液事業本部）

共催セミナー 10

第3日目：10月6日（火）12：05～12：55 第1会場

共催：アボットジャパン株式会社

B型肝炎の再活性化：輸血後肝炎と誤解されてきた医原病

演者：持田 智（埼玉医科大学消化器内科・肝臓内科）

座長：高本 滋（日本赤十字社北海道ブロック血液センター）

共催セミナー 11

第3日目：10月6日（火）12：05～12：55 第2会場

共催：株式会社カイノス

台湾人の血液型（Blood groups in Taiwan）～アジアにおける輸血を探る～

演者：林 媽利（馬偕紀念醫院〔台湾〕）

座長：清川 博之（日本赤十字社九州ブロック血液センター）

共催セミナー 12

第3日目：10月6日（火）12：05～12：55 第3会場

共催：テルモ BCT 株式会社

クリニクラウンがかける笑顔の魔法

演者：石井 裕子（NPO 法人日本クリニクラウン協会）

座長：河 敬世（日本赤十字社近畿ブロック血液センター

NPO 法人日本クリニクラウン協会）

＜一般演題＞

その他・OA（口演）

第2日目：10月5日（月）10：00～10：40 第2会場

刀根 勇一（日本赤十字社北海道ブロック血液センター）

O-001 Excelを用いた管理ツールの活用～ブロックCAPAに対応した教育訓練システム編～

静岡県赤十字血液センター

石田 忠

野沢 祐美

橋本 秀樹

加藤 和彦

有馬 秀明

南澤 孝夫

O-002 九州ブロック品質保証活動について～日常業務から品質を考える～

長崎県赤十字血液センター

岩本はる香

江川佐登子

藤井 実

中園 一郎

熊本県赤十字血液センター

大塚 裕子

鹿児島県赤十字血液センター

宮下幸一郎

沖縄県赤十字血液センター

赤嶺 廣幸

日本赤十字社九州ブロック血液センター

安河内真理

松永 直行

井上 慎吾

清川 博之

O-003 近畿ブロック血液センターにおける品質モニタリングの現状

日本赤十字社近畿ブロック血液センター

中林 裕子

小蘭 由香

柴田 幸子

阿藪 秀樹

面高 修

溜淵 昌徳

藤村 吉博

O-004 「品質川柳」による品質に対する意識付けの取り組み（広める活動WG活動から）

長野県赤十字血液センター

五味 高志

佐藤 博行

日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター

齊藤 昌子

河島 道雄

茨城県赤十字血液センター

長谷川 健

栃木県赤十字血液センター

小貫 素弘

群馬県赤十字血液センター

一倉 保

東京都赤十字血液センター

川簾 優子

長谷川秀弥

 管理運営（口演）

 第2日目：10月5日（月）10：00～10：50 第4会場

 吉村 誠（大阪府赤十字血液センター）

 O-005 インシデント報告を分析して
 埼玉県赤十字血液センター

| | | |
|-------|-------|-------|
| 菊川 洋子 | 石田 美香 | 星野 浩子 |
| 村田ゆかり | 松田 清美 | 木村 千尋 |
| 斎藤由美子 | 神山 泉 | 中川晃一郎 |
| 古橋 一弥 | 芝池 伸晃 | |

O-006 九州ブロック血液センター事業継続計画の取組みについて

| | | | |
|--------------------|-------|-------|-------|
| 日本赤十字社九州ブロック血液センター | 中村 弥奈 | 成松 奈穂 | 堀 有三 |
| | 田中 幸徳 | 元日田 勉 | 丸山 裕史 |
| | 小材 和美 | 入田 和男 | 清川 博之 |
| 佐賀県赤十字血液センター | 入田 和男 | | |

O-007 広域事業運営体制を鑑みた医薬品販売業における過誤防止対策の一方策

| | | | |
|-----------------------|-------|-------|-------|
| 日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター | 工藤 綾香 | 小山 浩 | 延島 俊明 |
| | 会川 勝彦 | 中島 一格 | |
| 東京都赤十字血液センター | 井上 肇 | 高橋 好春 | |
| 神奈川県赤十字血液センター | 神崎 隆一 | | |

O-008 新たな所内文書管理システムの構築－煩雑なルーチン業務の解消に向けて－

| | | | |
|--------------------|-------|-------|-------|
| 日本赤十字社近畿ブロック血液センター | 中島 舞 | 田中 英樹 | 刀祢 利昭 |
| | 駒田 修 | 井上 幹雄 | 龍 延博 |
| | 藤村 吉博 | | |

O-009 近畿ブロック血液センターにおける広域事業運営体制3年間の総括について

| | | | |
|--------------------|-------|------|-------|
| 日本赤十字社近畿ブロック血液センター | 松田 清功 | 駒田 修 | 井上 幹雄 |
| | 溜瀧 昌徳 | 龍 延博 | 藤村 吉博 |
| | 河 敬世 | | |

学術・医薬情報 1 (口演)

第 2 日目 : 10 月 5 日 (月) 14 : 00 ~ 14 : 50 第 4 会場

面川 進 (秋田県赤十字血液センター)

O-010 臨床研修医に対する輸血の安全性教育ー赤十字血液センターとしての役割についてー

秋田県赤十字血液センター

| | | |
|-------|-------|-------|
| 面川 進 | 國井 華子 | 吉田 斉 |
| 鎌田 博子 | 二部 琴美 | 寺田 亨 |
| 富樫めぐみ | 齋藤 貴仁 | 高嶋 和弘 |
| 阿部 真 | | |

O-011 地域医療支援病院の地域連携室と協力した輸血研修会の開催について

福岡県赤十字血液センター

| | | |
|-------|-------|-------|
| 石井 恵美 | 井上 浩二 | 古田 秀利 |
| 松本 浩二 | 石川 博徳 | 竹野 良三 |
| 佐川 公矯 | | |

北九州市立医療センター

| | | |
|-------|-------|-------|
| 横山 智一 | 雪屋 秀一 | 小野 弘美 |
| 杉尾 康浩 | 小野 稔 | |

O-012 小規模医療機関への医薬情報活動を通じた献血啓発の一例

日本赤十字社北海道ブロック血液センター

| | | |
|-------|-------|-------|
| 森下 勝哉 | 加賀谷 聡 | 宍戸 勝人 |
| 土田 幸司 | 葛間 一裕 | 本間 淳 |
| 前田 良一 | 山上 勇治 | 菅原 拓男 |
| 紀野 修一 | 牟禮 一秀 | 高本 滋 |

北海道赤十字血液センター

山本 哲

O-013 長野県内における医療機関の危機管理体制の実態調査について

長野県赤十字血液センター

| | | |
|-------|-------|------|
| 平林 盛人 | 渡邊 満 | 大田 智 |
| 五味 高志 | 小池 敏幸 | 齊藤 敏 |
| 佐藤 博行 | | |

長野県健康福祉部薬事管理課

山崎 光隆 中村 一彦

長野県献血推進協議会輸血療法部会

小嶋 俊介 下平 滋隆

O-014 プロトタイプ高分解能心電解析装置による遠隔医療支援システムの開発

岩手県赤十字血液センター

| | | |
|-------|-------|-------|
| 中居 賢司 | 伊藤 寛泰 | 菊池 卓也 |
| 中島みどり | 佐藤 泰子 | 長峯 文男 |

岩手医科大学関連医学分野

伊藤 学

 学術・医薬情報 2 (口演)

 第2日目：10月5日(月) 16:00～16:50 第4会場

 平 力造 (日本赤十字社血液事業本部)

O-015 遡及調査の受血者情報に基づく一考察 (HCV、HIV)

日本赤十字社血液事業本部

平 力造

廣井 和雄

日高 孝夫

O-016 HBV 関連陽転事例における受血者情報の集計結果について

日本赤十字社血液事業本部

廣井 和雄

日高 孝夫

平 力造

豊田 九朗

O-017 輸血後にアナフィラキシーを呈した患者全血と当該製剤間で好塩基球活性化試験が陽性を示した症例について

日本赤十字社近畿ブロック血液センター

松山 宣樹

保井 一太

尼岸 悦子

入江與利子

石井 博之

松倉 晴道

谷 慶彦

藤村 吉博

平山 文也

静岡県立静岡がんセンター血液・幹細胞移植科

岡村 郁恵

池田 宇次

O-018 呼吸困難を伴う非溶血性輸血副作用症例の血小板製剤から検出された HNA-3a 抗体について

日本赤十字社近畿ブロック血液センター

入江與利子

尼岸 悦子

松山 宣樹

保井 一太

石井 博之

松倉 晴道

藤村 吉博

平山 文也

社会医療法人生長会府中病院

三平 りさ

唄野 直子

麥谷安津子

青山 泰孝

長崎 讓慈

井戸健太郎

O-019 HLA 適合血小板輸血における輸血後臨床成績の収集について

日本赤十字社近畿ブロック血液センター

原 祐子

高 陽淑

西海 真弓

下北 希美

西宮 紘子

山本ゆかり

石井 博之

松倉 晴道

谷 慶彦

藤村 吉博

学術・医薬情報 3 (口演)

第2日目：10月5日(月) 17:00～17:50 第4会場

高橋 雅彦 (日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター)

O-020 茨城県合同輸血療法委員会の活動～院内廃棄血削減に係る個別訪問を実施して～

茨城県赤十字血液センター

谷川 道浩

山口 恭子

大江 和紀

石野はるみ

長谷川 健

佐藤 純一

茨城県合同輸血療法委員会

大越 靖

O-021 新潟県における輸血検査の現況と課題

新潟県赤十字血液センター

松山 雄一

古俣 妙

瀬下 敏

立川 泰雄

北村富貴夫

布施 一郎

O-022 富山県合同輸血療法委員会「看護師部会」の活動報告について

富山県赤十字血液センター

塩原 康司

宮田裕実子

安川真里子

松島 典子

奥多妃都美

川田 恵子

廣田 光子

横川 博

O-023 院内輸血療法委員会活性化への取り組み～血液センター MR の参加とホームページの活用～

山梨県赤十字血液センター

山野 由佳

赤井 洋美

中村 弘

久保田寿治

田中 均

O-024 鹿児島県内の医療機関における輸血用血液製剤の管理体制と使用状況について

鹿児島県赤十字血液センター

小松尾麻衣

寺野 玉枝

宮下幸一郎

藤村 慎一

中村 和郎

榮鶴 義人

採血 1 (口演)

第2日目：10月5日(月) 9:00～9:50 第5会場

川口 泉 (広島県赤十字血液センター)

O-025 大阪センターにおける採血静脈練習キットの比較検討について

大阪府赤十字血液センター

澤田 知美

葛島 基子

若菜美代子

塚本 昭子

首藤加奈子

神前 昌敏

O-026 量不足に対する意識の変化と行動変容－動機づけによる意識の向上への取り組み－

富山県赤十字血液センター

太田るり子

長田恵美子

安川真里子

廣田 光子

横川 博

O-027 アクションカードを使用した採血副作用合同訓練の評価と課題

香川県赤十字血液センター

| | | |
|-------|-------|-------|
| 窪田 明実 | 有澤 由美 | 板崎 香織 |
| 新名 准子 | 森原 久紀 | 本田 豊彦 |

O-028 採血課における過去4年間のインシデントレポートシステム集計と今後の対策

茨城県赤十字血液センター

| | | |
|-------|-------|-------|
| 石塚笑美子 | 佐藤 純一 | 高松 貴代 |
| 川又千佳子 | 横須賀千絵 | 畠山 弥生 |
| 浅野 佳子 | 伊藤みどり | 甘利 啓子 |
| 飯村 峰子 | | |

O-029 採血責任者継続研修の取り組みについて

東京都赤十字血液センター

| | | |
|-------|-------|-------|
| 加川 敬子 | 最所 浩美 | 柴田 玲子 |
| 松崎 浩史 | 加藤 恒生 | |

採血2（口演）

第2日目：10月5日（月）10：00～10：50 第5会場

塚本 昭子（大阪府赤十字血液センター）

O-030 成分採血におけるレッグクロス運動の有効な実施時期について～献血ルームタワーズ20での経験から～

愛知県赤十字血液センター

| | | |
|-------|-------|-------|
| 塩見 佳子 | 佐久間幸代 | 村瀬 寿美 |
| 小野 知子 | 高橋 了 | 秋田 治彦 |
| 北折健次郎 | 大西 一功 | |

O-031 献血における循環血液量の減少を伴わない血管迷走神経反射

北海道赤十字血液センター

| | | |
|---------------------|-------|-------|
| 荒木あゆみ | 算用子裕美 | 小澤 敏史 |
| 金井ひろみ | 山本 哲 | 池田 久實 |
| 日本赤十字社北海道ブロック血液センター | 高本 滋 | |

O-032 青森センターにおけるVVR発生率の検討ーVVR減少を目指してー

青森県赤十字血液センター

| | | |
|-------|-------|-------|
| 蒔苗真由美 | 阿部 泰文 | 鈴木麻里子 |
| 中村 明美 | 田村 房子 | 村上 知教 |
| 阿保 幸博 | 三戸 孝 | 杉本和歌子 |
| 榎本 明 | 柴崎 至 | |

O-033 全血初回献血者の水平位採血による VVR 発生率の低減

神奈川県赤十字血液センター

半田 聖子

金山 直子

本城 陽子

石黒 昌代

根本真理子

宮坂美紀子

成田しおり

河野 智子

佐藤 恵子

大久保理恵

佐藤 研

永島 實

O-034 神経損傷・神経障害の予防対策としてのシーフテスト実施後の受診状況について

奈良県赤十字血液センター

石田 宏美

菅野和加子

山西 弘美

岩下 恵子

北岸 祥行

西川 一裕

田中 孝

嶋 裕子

塩田 明弘

谷 慶彦

稲田病院

稲田 有史

採血 3 (口演)

第2日目：10月5日(月) 14:00～14:50 第5会場

田代 千穂 (福岡県赤十字血液センター)

O-035 従来の方法では血小板採血出来なかった女性献血者を対象にトリマアクセルでの血小板採血の取り組み

愛知県赤十字血液センター

稲垣 美穂

梅田 裕美

永井 明美

近藤 薫

金子 幸恵

内藤いづみ

中市 直次

北折健次郎

大西 一功

テルモ BCT 株式会社

高橋 佑樹

宮田 文男

O-036 御堂筋献血ルームにおける効率的な血小板成分採血の取り組みについて

大阪府赤十字血液センター

川西 美雪

南野 恵子

松室 敬子

若菜美代子

塚本 昭子

首藤加奈子

神前 昌敏

O-037 沖縄センターにおけるトリマアクセルでの血小板採血の有効活用について

沖縄県赤十字血液センター

瀬名波克美

久場美和子

喜村 功

新城 知子

宮城 寿枝

安仁屋宗功

兼元 栄進

大久保和明

O-038 血小板減損率低下への取り組み

島根県赤十字血液センター

野村奈都子

森江由美子

天野亜由美

竹田 章乃

長谷川久美子

伊達 栄子

増田 雅也

前迫 直久

O-039 HLA 登録者増加に向けた試み

鹿児島県赤十字血液センター

| | | |
|-------|-------|-------|
| 椿 いずみ | 久保 尚美 | 西 湯香 |
| 中國 祐子 | 米山 幸江 | 桑畑 恵子 |
| 内門 悦子 | 和合 明子 | 東 珠子 |
| 豊富ケイ子 | 甲斐 清子 | 大原 律子 |
| 牧 生恵 | 岩切 栄子 | 藤村 慎一 |
| 中村 和郎 | 榮鶴 義人 | |

採血 4 (口演)

第 2 日目 : 10 月 5 日 (月) 15 : 00 ~ 15 : 50 第 5 会場

鈴木 ゆかり (愛知県赤十字血液センター)

O-040 分割血小板採取に向けた、高単位血小板採血への取り組みについて

兵庫県赤十字血液センター

| | | |
|-------|-------|-------|
| 藤本優輝枝 | 井澤 玲子 | 細川 良子 |
| 藤川 美紀 | 平川 通夫 | 中島久美子 |
| 福井 孝之 | 三木 均 | |

O-041 分割血小板を含む高単位血小板採血推進への取り組み 高単位血小板採取可能 (潜在) ドナーの調査から

東京都赤十字血液センター

| | | |
|-------|-------|-------|
| 三浦 靖志 | 香山 マミ | 田中のぶ子 |
| 氏家 亜子 | 柴田 玲子 | 松崎 浩史 |
| 加藤 恒生 | | |

O-042 トリマアクセルによる分割血小板採血への取り組み

千葉県赤十字血液センター

| | | |
|-------|-------|-------|
| 亀谷 有香 | 光原 千尋 | 遠藤 千弥 |
| 新保美佐江 | 福田 京子 | 松本 和美 |
| 宮井 麻子 | 島田 晃 | 今井 俊樹 |
| 小野由理子 | 浅井 隆善 | |

O-043 トリマアクセル使用活性化による「ブン 20」採取への取り組み

愛知県赤十字血液センター

| | | |
|-------|-------|-------|
| 森山江美子 | 西澤 彩 | 出羽澤博香 |
| 亀山ちづる | 上見 恵子 | 内海 和代 |
| 林 周治 | 大西 博幸 | 北折健次郎 |
| 大西 一功 | | |

テルモ BCT 株式会社

| | | |
|-------|-------|-------|
| 高橋 佑樹 | 福島かさね | 宮田 文男 |
|-------|-------|-------|

O-044 九州各県の分割血小板拡大に向けた取り組み

日本赤十字社九州ブロック血液センター

| | | |
|-------|-------|-------|
| 古賀ひとみ | 大町 幸子 | 松永 直行 |
| 井上 慎吾 | 清川 博之 | |

佐賀県赤十字血液センター

入田 和男

製剤（口演）

第2日目：10月5日（月）16：00～16：50 第5会場

石川 善英（日本赤十字社血液事業本部中央血液研究所）

O-045 血小板製剤の凝集塊発生率低減に向けての検討

| | | | |
|---------------------|-------|-------|-------|
| 日本赤十字社中四国ブロック血液センター | 久保千紗都 | 杉山 順子 | 鈴木佳寿美 |
| | 一宮 明美 | 宇川 靖司 | 西尾由美子 |
| | 大熊 重則 | 佐藤 泰司 | 中田 一正 |
| | 本田 豊彦 | 土肥 博雄 | |
| 日本赤十字社近畿ブロック血液センター | 三橋 久子 | | |
| 香川県赤十字血液センター | 本田 豊彦 | | |

O-046 血小板製剤中の凝集塊に関する検討－振とう処理効果と血小板活性化について－

| | | | |
|--------------------|-------|-------|------|
| 日本赤十字社東北ブロック血液センター | 小田島千尋 | 及川 伸治 | 星 尚宏 |
| | 佐瀬 良春 | 川島 航 | 鈴木 光 |
| | 峯岸 正好 | 清水 博 | |

O-047 原料となる濃厚血小板の振とう中断が品質におよぼす影響

| | | | |
|-----------------------|-------|-------|-------|
| 日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター | 茶谷 真 | 小野寺秀一 | 金子 祐次 |
| | 栗原 勝彦 | 秋元 正浩 | 高橋 雅彦 |
| | 名雲 英人 | 百瀬 俊也 | 佐竹 正博 |
| | 中島 一格 | | |

O-048 血小板製剤の保管による血小板表面糖鎖発現の変化

| | | | |
|--------------------|-------|-------|-------|
| 日本赤十字社近畿ブロック血液センター | 小池 敏靖 | 森 純平 | 寺田あかね |
| | 林 智也 | 大橋 祥朗 | 岩本 澄清 |
| | 沖 学 | 藤村 吉博 | |
| 神戸薬科大学生化学研究室 | 北川 裕之 | | |

O-049 全血液の保管条件が血小板由来マイクロパーティクル産生とトロンビン生成能に及ぼす影響について

| | | | |
|---------------------|-------|-------|-------|
| 日本赤十字社北海道ブロック血液センター | 内藤 祐 | 藤原 満博 | 若本志乃舞 |
| | 林 宜亨 | 本間 稚広 | 紀野 修一 |
| | 高本 滋 | | |
| 北海道赤十字血液センター | 山本 哲 | 池田 久實 | |
| 日本赤十字社血液事業本部 | 秋野 光明 | | |

採血5 (口演)

第2日目: 10月5日(月) 17:00 ~ 17:50 第5会場

加川 敬子 (東京都赤十字血液センター)

O-050 献血リピータ増加に向けて～CS 向上の実践～

京都府赤十字血液センター

| | | |
|--------|-------|-------|
| 阿久根利恵子 | 四方 優子 | 喜多 陽子 |
| 菅沼 誠人 | 浜崎裕美子 | 伊藤 俊之 |
| 辻 肇 | | |

O-051 大街道献血ルーム満足度調査アンケートを実施して～献血者確保にむけ看護師ができる取り組みを探る～

愛媛県赤十字血液センター

| | | |
|-------|-------|-------|
| 小川 泉 | 津吉 薫 | 重村 華子 |
| 浅田 裕子 | 富岡亜紀子 | 川崎 裕子 |
| 平戸さやか | 小山 麻矢 | 白石 洋子 |
| 松坂 俊光 | 代 隆彦 | 芦原 俊昭 |

O-052 オープン会場での環境改善に向けての取り組みについて

愛知県赤十字血液センター

| | | |
|-------|-------|-------|
| 古田 悦子 | 林 優子 | 田中 まい |
| 畑 加奈子 | 大橋 玲奈 | 大山 仁美 |
| 芝田佳奈子 | 鈴木ゆかり | 北折健次郎 |
| 大西 一功 | | |

O-053 北海道赤十字血液センターにおける受診勧奨の取り組み

北海道赤十字血液センター

| | | |
|---------------------|-------|-------|
| 小澤 敏史 | 金井ひろみ | 池田 久實 |
| 山本 哲 | | |
| 日本赤十字社北海道ブロック血液センター | 高本 滋 | |
| 東京都赤十字血液センター | 石川 清臣 | |

O-054 血色素不採血者に対する取り組み～和歌山県の現状と対策を考える～

和歌山県赤十字血液センター

| | | |
|-----------------|-------|-------|
| 宮本 暁子 | 古川 由美 | 上田 ちか |
| 辻 万喜 | 中出 佳秀 | 嶋田 博之 |
| 佐藤 克明 | 田村 康一 | |
| 日本赤十字社和歌山医療センター | 高岸 壽美 | |